

2024年

車いす使用者のパブリックトイレの 利用に関するアンケート調査

利用状況と整備要望について

TOTO株式会社

1 調査概要

2 調査結果

- 2-1. 回答者属性
- 2-2. 外出先とトイレの利用状況
- 2-3. 外出先トイレの設備
- 2-4. 排せつ以外の行為

3 まとめ

1. 調査概要

調査背景

高齢者、障がい者等の社会参加や外出等の機会をさらに促進するためには、さまざまな施設においてトイレを整備することが重要である。建築設計標準※1においても、日常生活及び社会生活において利用される用途の施設（診療所・物販店舗・飲食店舗・サービス店舗等）には規模に関わらず、高齢者、障がい者等が円滑に利用できるトイレを設けることが示されている。

※1：高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準（国土交通省）

調査目的

車いす使用者の利用する施設、トイレの利用頻度、整備をしてほしい施設について調査した。また、車いす使用者の多様なニーズを確認するため、設備や排せつ以外の行為についても確認した。

調査対象者

車いす使用者

- ・外出を月1回以上
- ・外出先で公共トイレを月1回以上利用
- ・公共トイレ内まで車いすで入室

回答者数

280名

調査期間

2024年2月15日～2月27日

調査方法

インターネット調査

対象エリア

全国

1 調査概要

2 調査結果

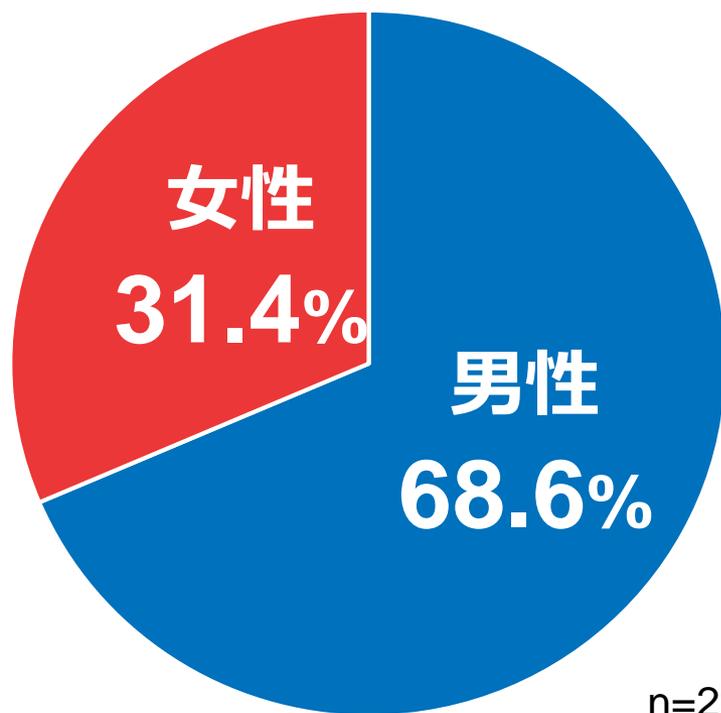
- 2-1. 回答者属性
- 2-2. 外出先とトイレの利用状況
- 2-3. 外出先トイレの設備
- 2-4. 排せつ以外の行為

3 まとめ

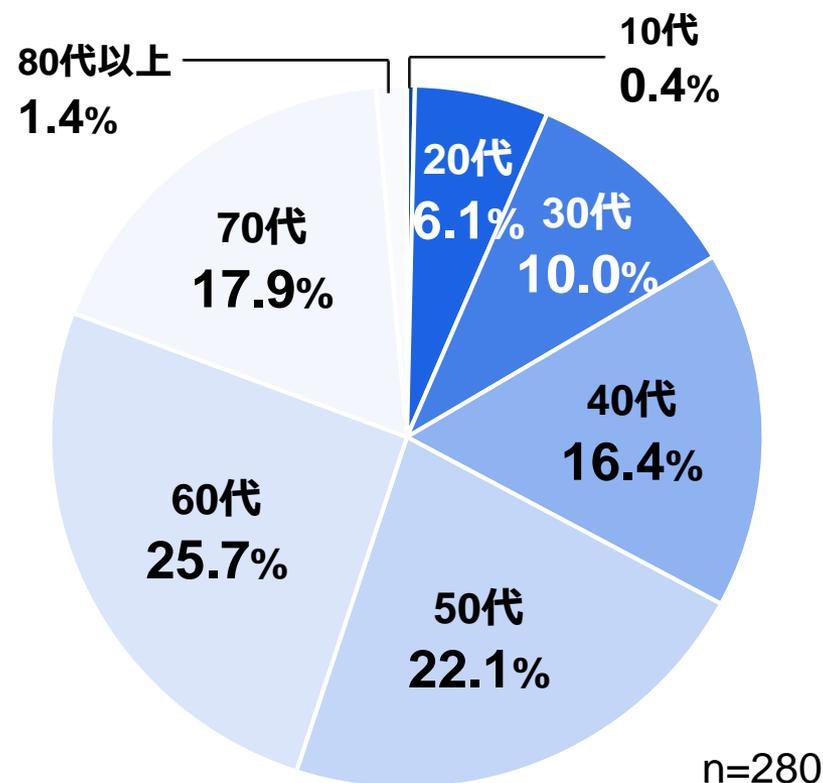
2-1. 回答者属性

男性68.6%、女性31.4%、60代と50代が比較的多い。

性別



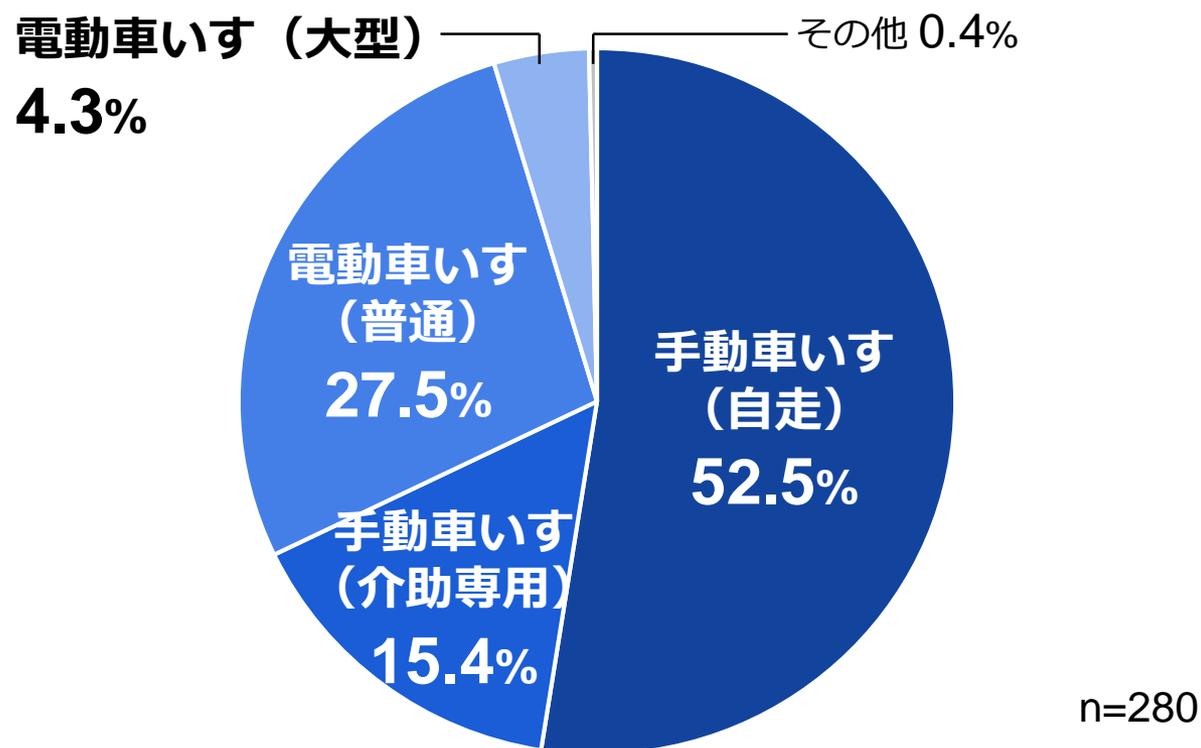
年代



2-1. 回答者属性

手動車いす（自走） 52.5%、手動車いす（介助専用） 15.4%、
電動車いす（普通） 27.5%、電動車いす（大型） 4.3%。

車いすの種類

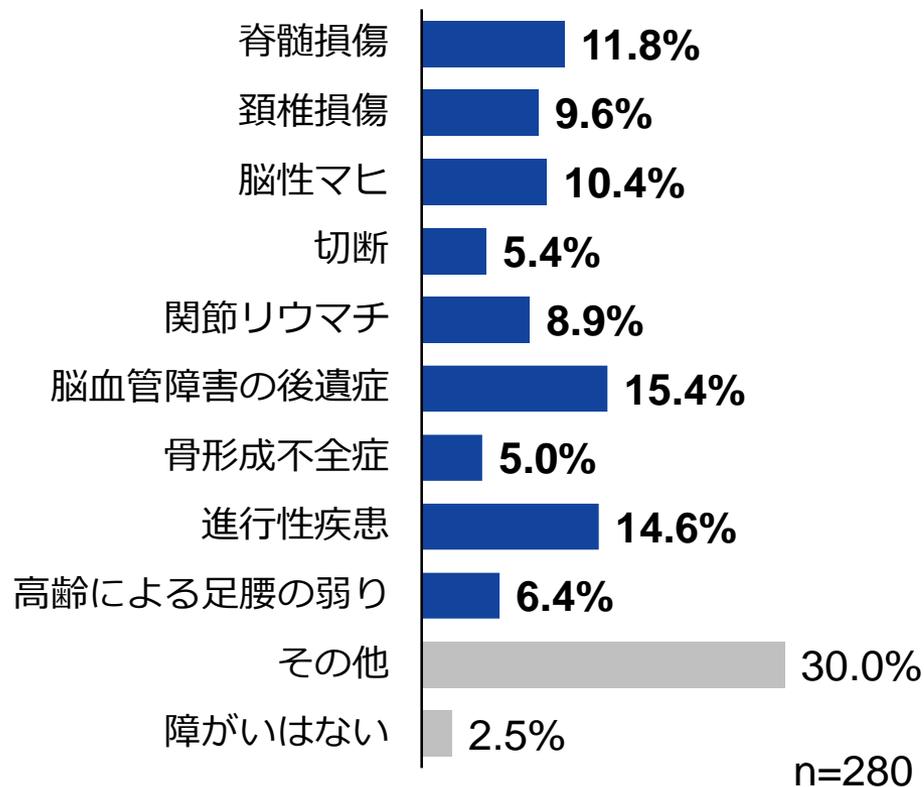


2-1. 回答者属性

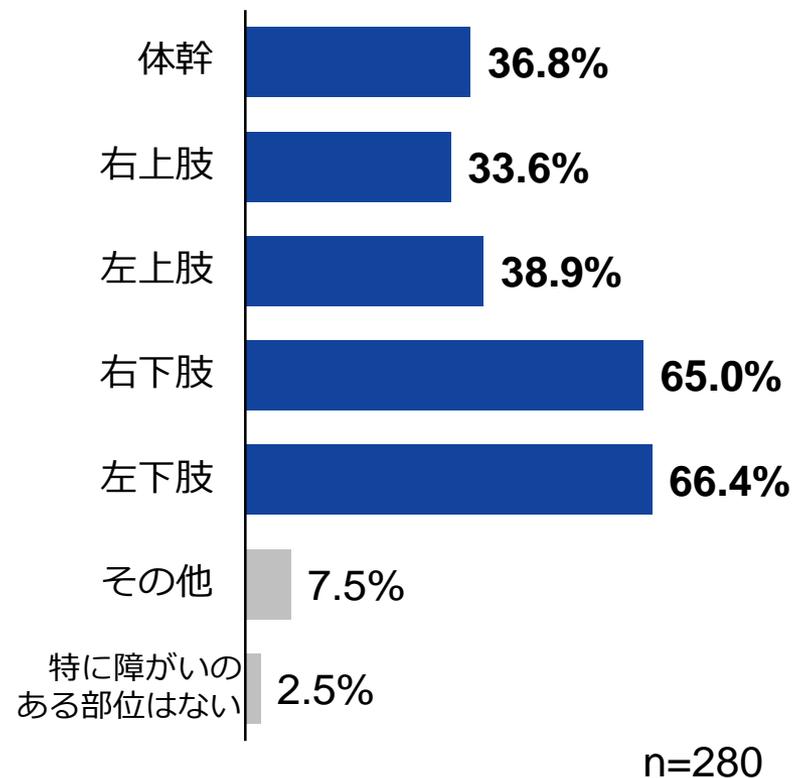
脳血管疾患の後遺症、進行性疾患、脊髄損傷などが多い。
障がいがある部位としては下肢が比較的多い。

(複数回答)

障がいの内容または疾患



障がいがある部位

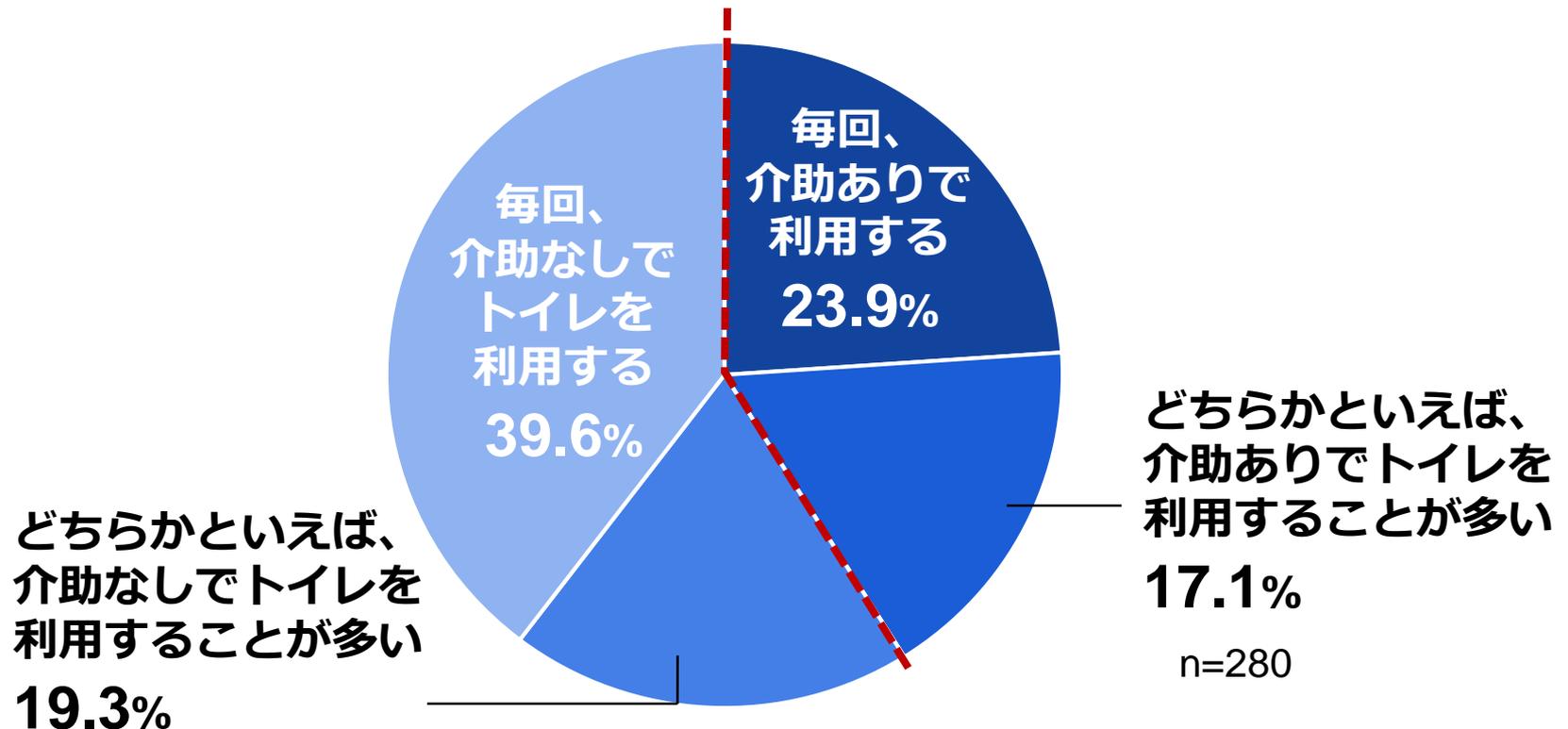


- ・進行性疾患：筋ジストロフィ、骨髄小脳変性症、ALSなど
- ・その他：脊髄髄膜瘤、線維筋痛症など

2-2. 回答者属性

外出先でのトイレ利用時、介助ありでの利用は41.0%、
介助なしでの利用は58.9%。

介助の有無

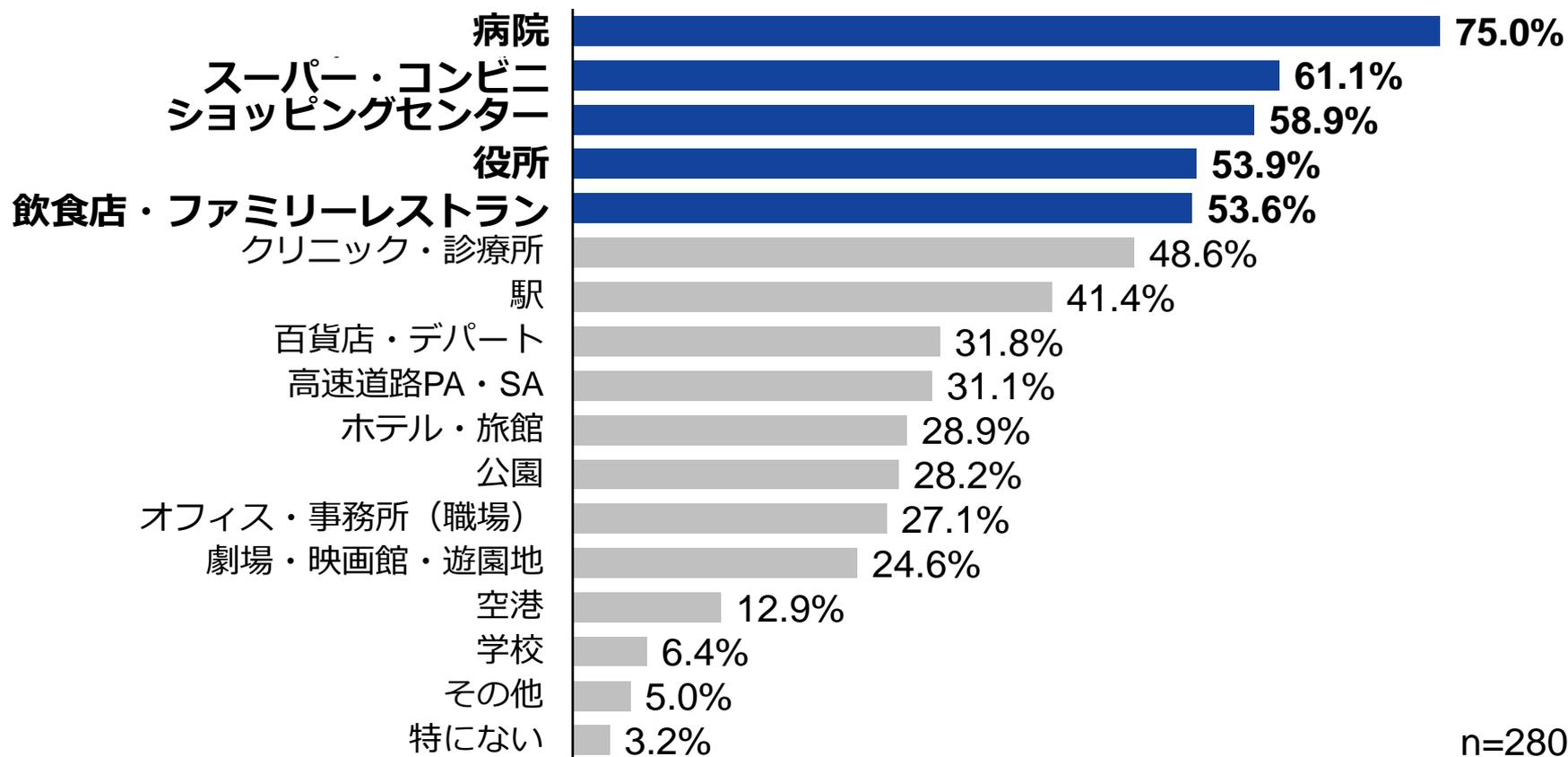


2-2. 外出先とトイレの利用状況【利用施設】

利用する施設として「病院」「スーパー・コンビニ」「ショッピングセンター」「役所」「飲食店・ファミリーレストラン」が挙げられている。

(複数回答)

Q1 | この1年以内に利用したことがある施設をすべてお選びください。



n=280

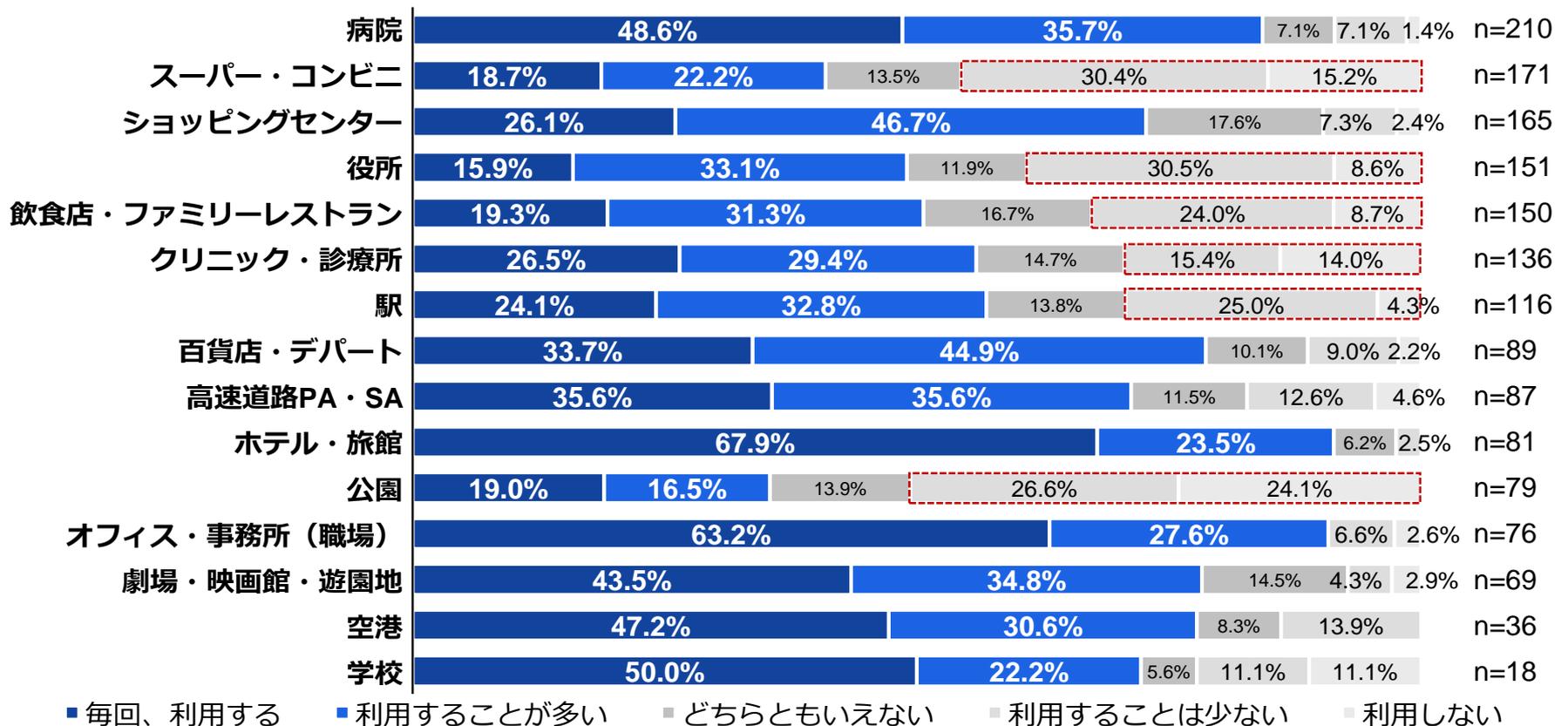
2-2. 外出先とトイレの利用状況【トイレ利用頻度】

「スーパー・コンビニ」「役所」「飲食店・ファミリーレストラン」は利用する施設である一方でトイレの利用頻度は低い。

「クリニック・診療所」「駅」「公園」はトイレ利用頻度が比較的低い。

Q1で1年以内に利用したことがある施設を回答した人

Q2 | 「利用したことがある」と回答された施設について、その施設のトイレの利用頻度をお聞かせください。



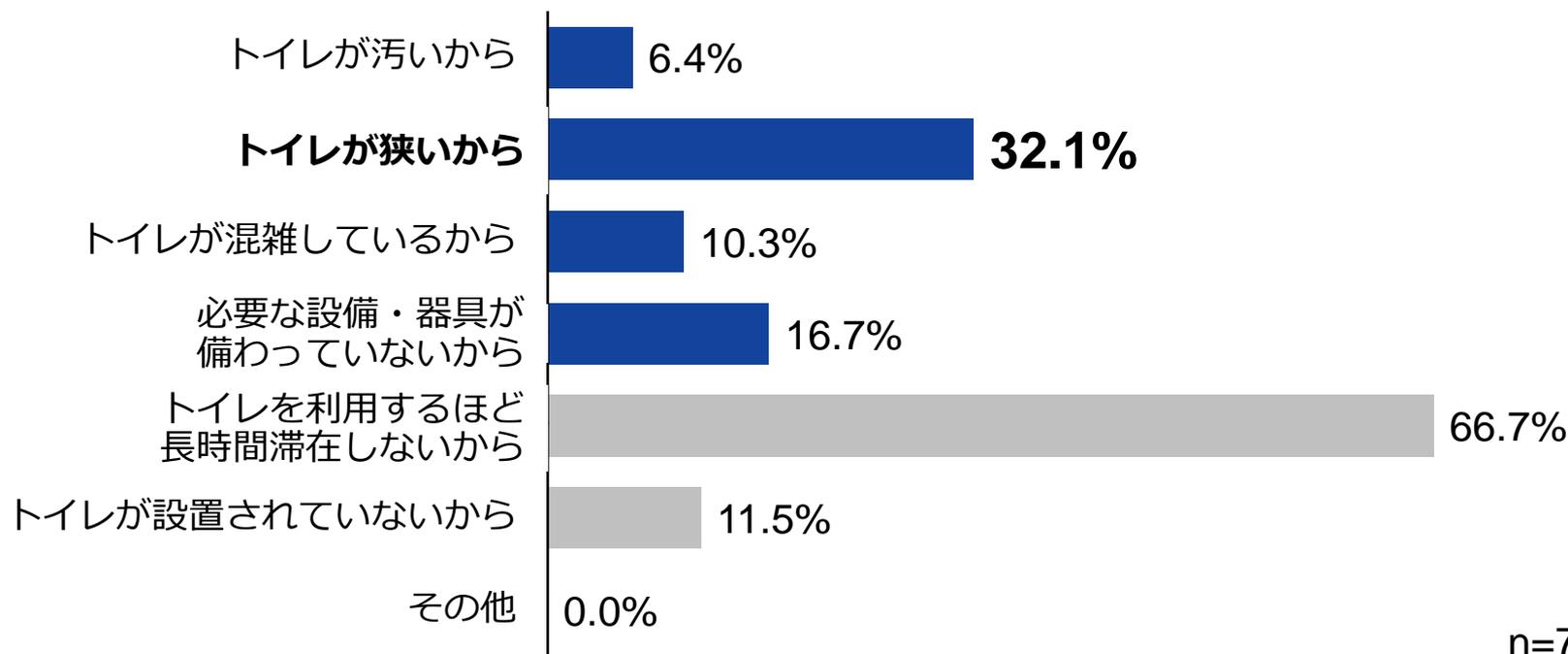
2-2. 外出先とトイレの利用状況【トイレ利用頻度が低い理由】

「トイレが狭いから」などトイレ空間の広さが確保されていないことで利用をあきらめている人がいる。（長時間滞在しないからを除き）

Q2でスーパー・コンビニのトイレを「利用することは少ない」「利用しない」と回答した人

Q3 | その理由をお聞かせください。

スーパー・コンビニ



n=78

2-2. 外出先とトイレの利用状況【トイレ利用頻度が低い理由】

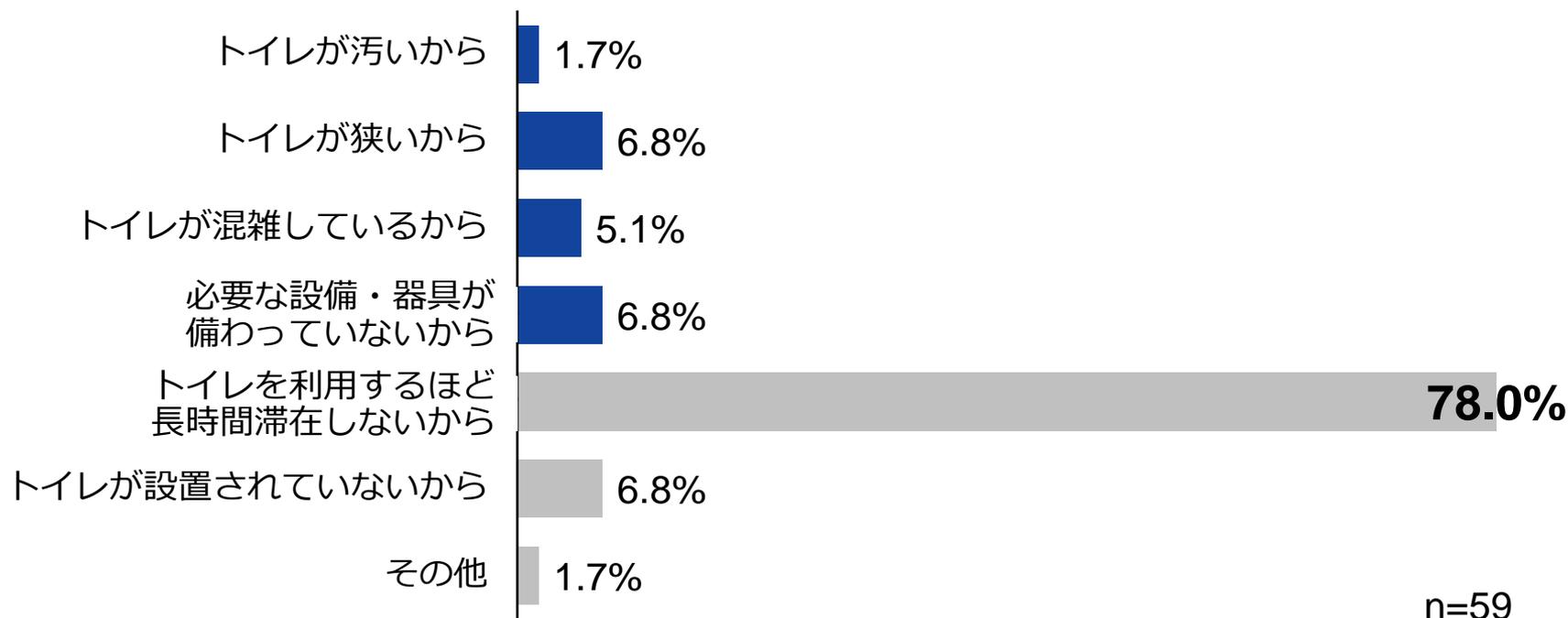
広さや設備を理由に挙げる人は少ない、車いす使用者トイレの広さや設備が充実していると推察される。（長時間滞在しないからを除き）

Q2で**役所のトイレ**を「利用することは少ない」「利用しない」と回答した人

Q3 | その理由をお聞かせください。

(複数回答)

役所



2-2. 外出先とトイレの利用状況【トイレ利用頻度が低い理由】

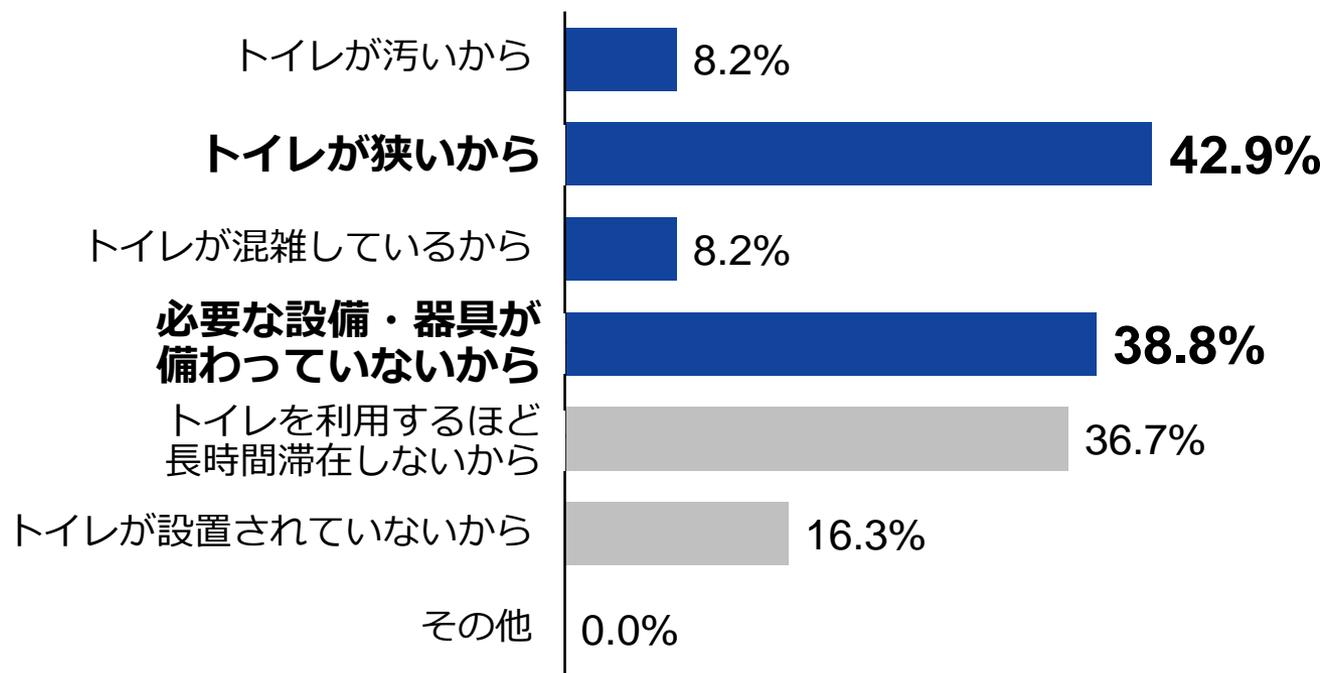
「トイレが狭いから」「必要な設備・器具が備わっていないから」が理由として多く、広さと設備が課題。

Q2で**飲食店・ファミリーレストランのトイレ**を「利用することは少ない」「利用しない」と回答した人

Q3 | その理由をお聞かせください。

(複数回答)

飲食店・ファミリーレストラン



n=49

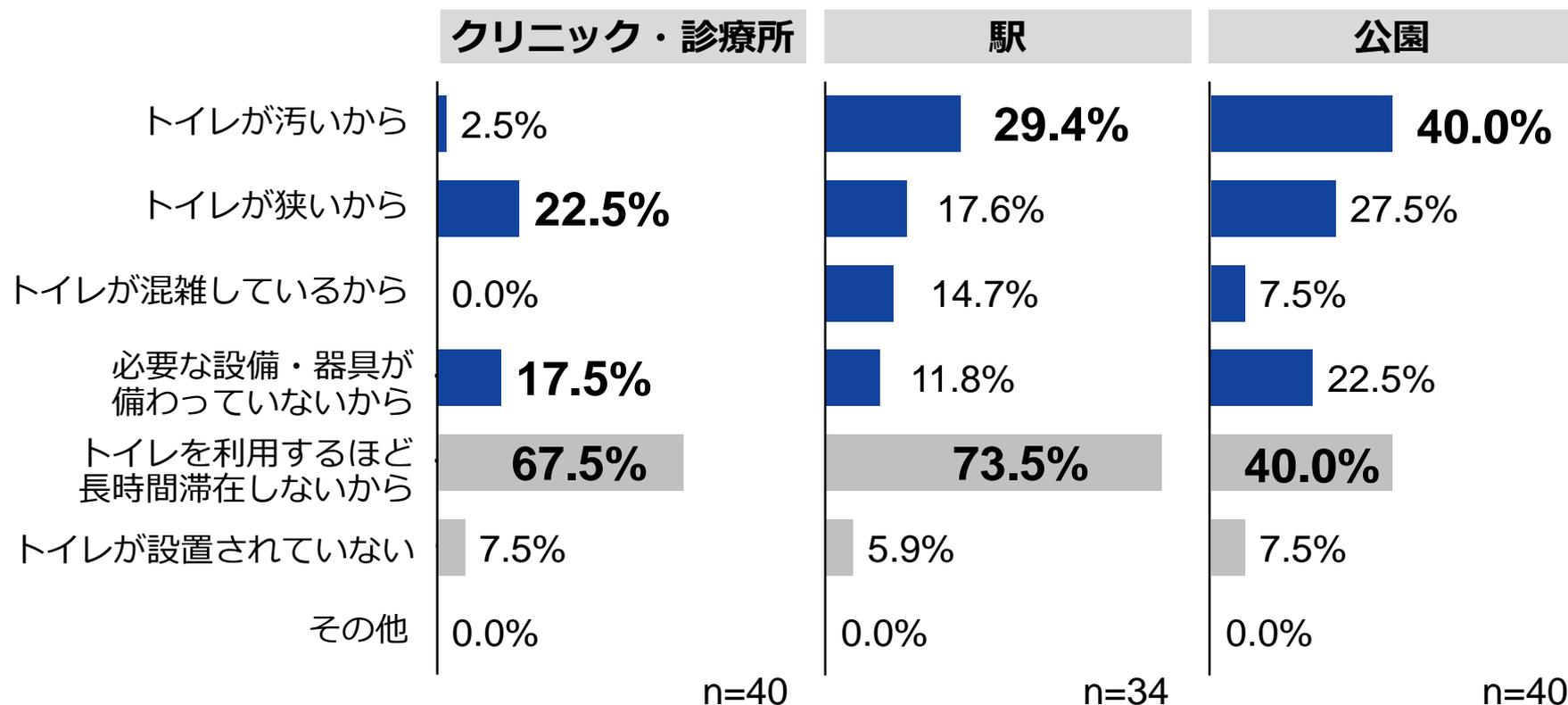
2-2. 外出先とトイレの利用状況【トイレ利用頻度が低い理由】

(長時間滞在しないを除き)

クリニックではトイレの狭さを理由として挙げる人が多く広さが課題。
駅・公園はトイレの汚さを理由として挙げる人が多く清潔性が課題。

Q2で以下の施設のトイレを「利用することは少ない」「利用しない」と回答した人

Q3 | その理由をお聞かせください。 (複数回答)

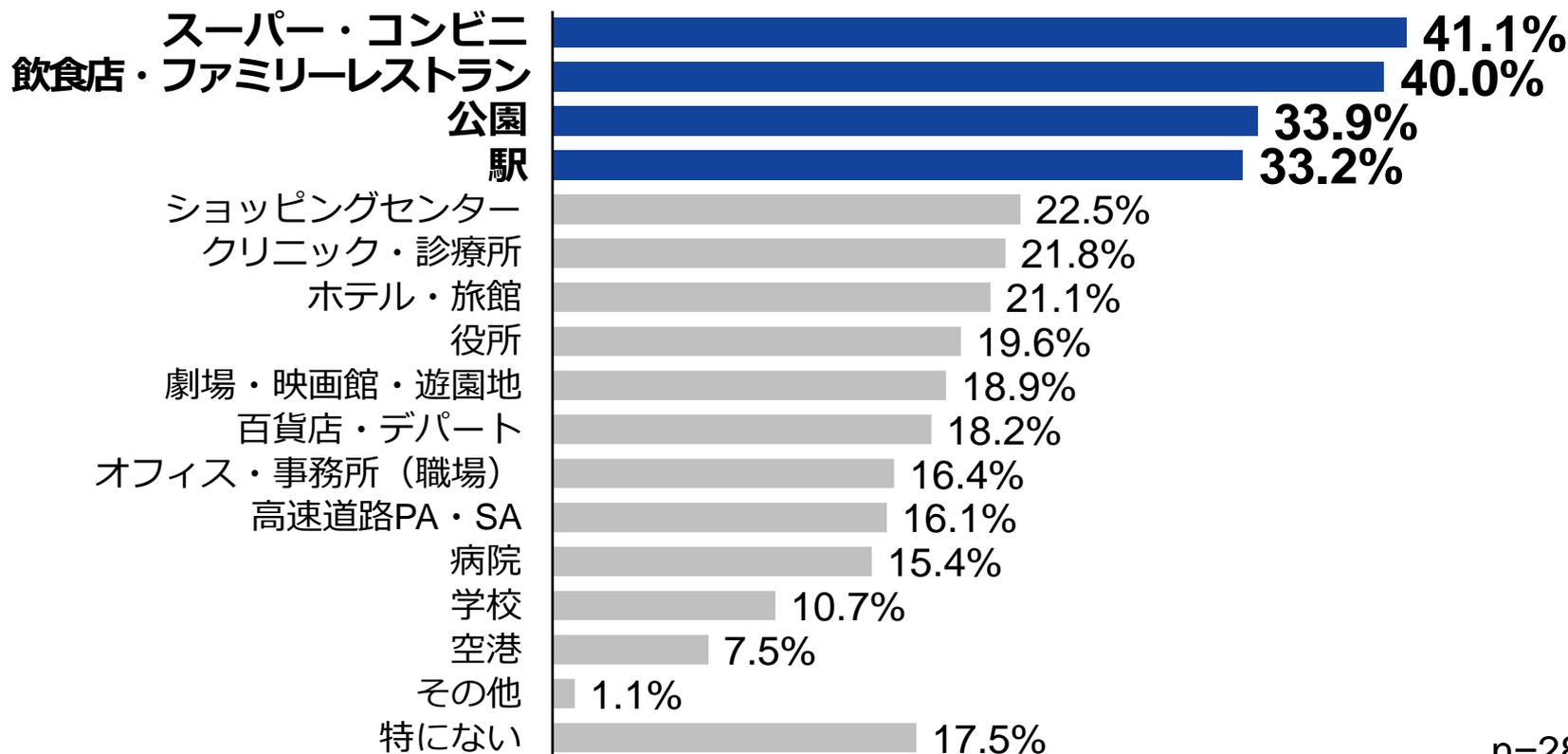


2-2. 外出先とトイレの利用状況【トイレ整備を望む施設】

「スーパー・コンビニ」「飲食店・ファミリーレストラン」「公園」「駅」などがトイレ整備を望む施設の上に挙げられている。

(複数回答)

Q4 | 公共トイレの利用に際して不便・不快を感じるなどで、「今後トイレを整備してほしい」とお考えの施設をお選びください。

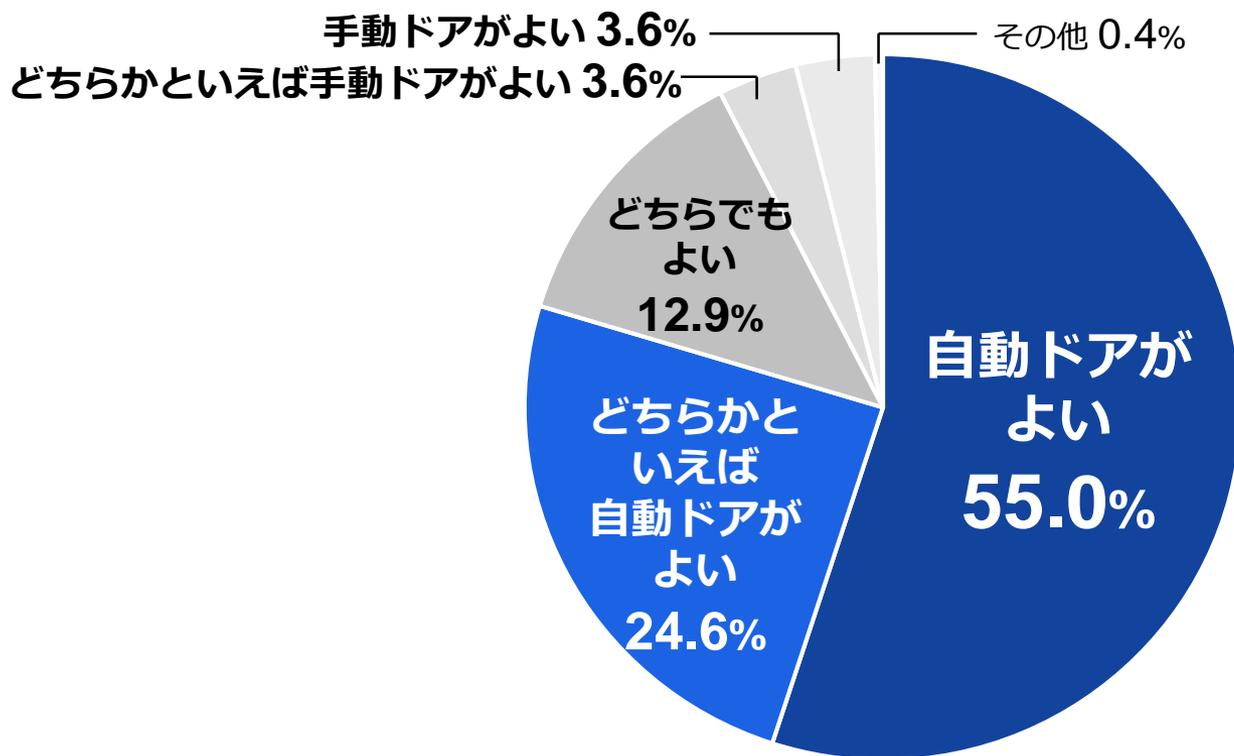


n=280

2-3. 外出先トイレの設備【扉（ドア）】

手動ドア（7.2%）よりも自動ドア（79.6%）の方が望まれている。
12.9%が「どちらでもよい」と回答。

Q5 | 車いす使用者トイレの扉について、自動ドア（引き戸）、手動ドア（引き戸）どちらがよいですか。



n=280

2-3. 外出先トイレの設備【扉（ドア）】

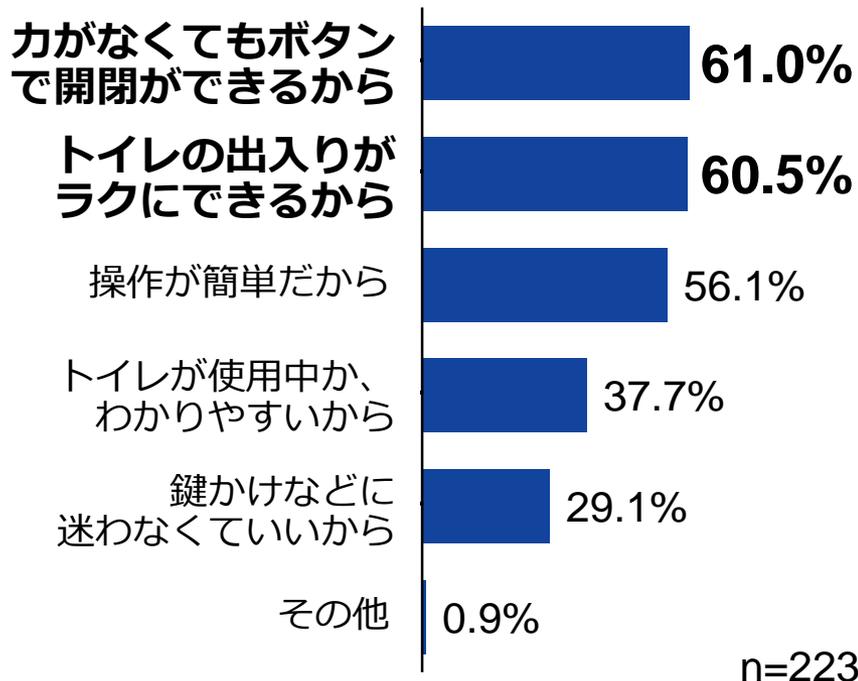
自動ドアがよい理由は「力がなくてもボタンで開閉できるから」「トイレの出入りがラクにできるから」が多い。

手動ドアがよい理由は「鍵かけが確実にできるから」が多い。

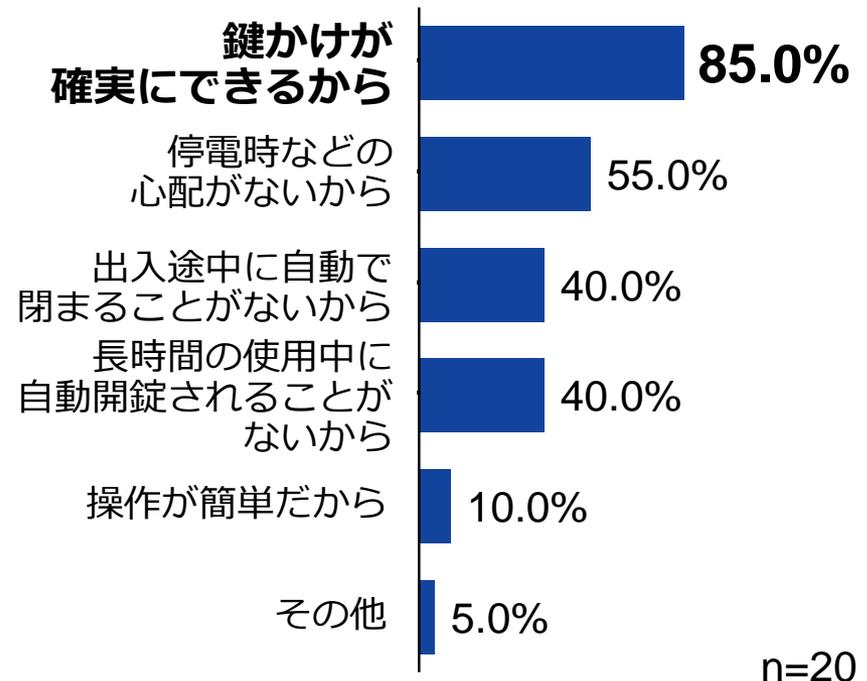
Q5で自動ドア／手動ドアについてそれぞれ「よい」「どちらかといえばよい」と回答した人

Q6 | その理由をお聞かせください。 (複数回答)

「自動ドア」と回答した理由



「手動ドア」と回答した理由

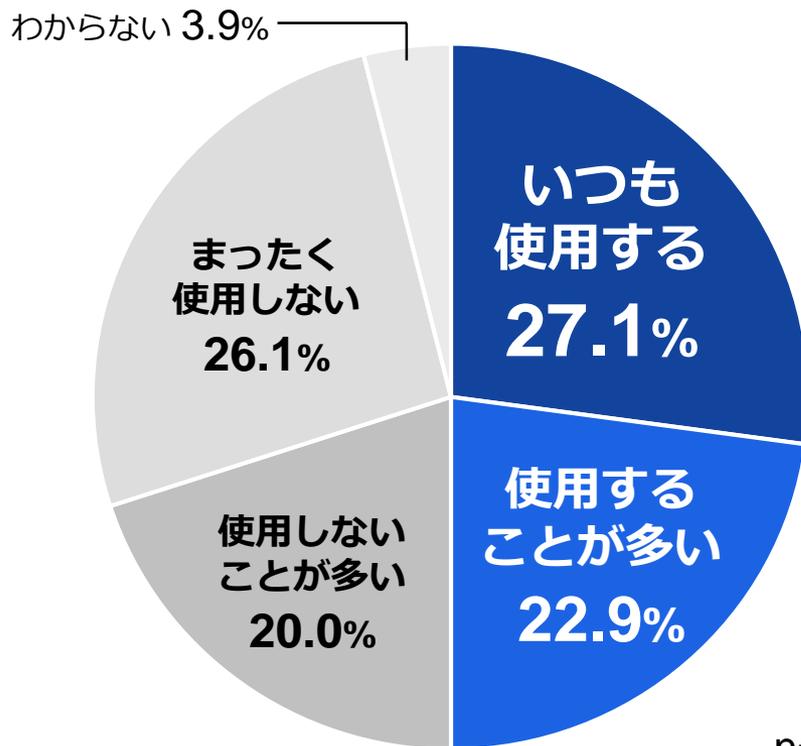


※n<30のため参考値

2-3. 外出先トイレの設備【便器横手洗器】

「いつも使用する」「使用することが多い」人は50.0%、
「まったく使用しない」「わからない」を除き70.0%は使用している。

Q7 | 車いす使用者トイレに設置されている便器横の手洗器※を使用しますか。



n=280



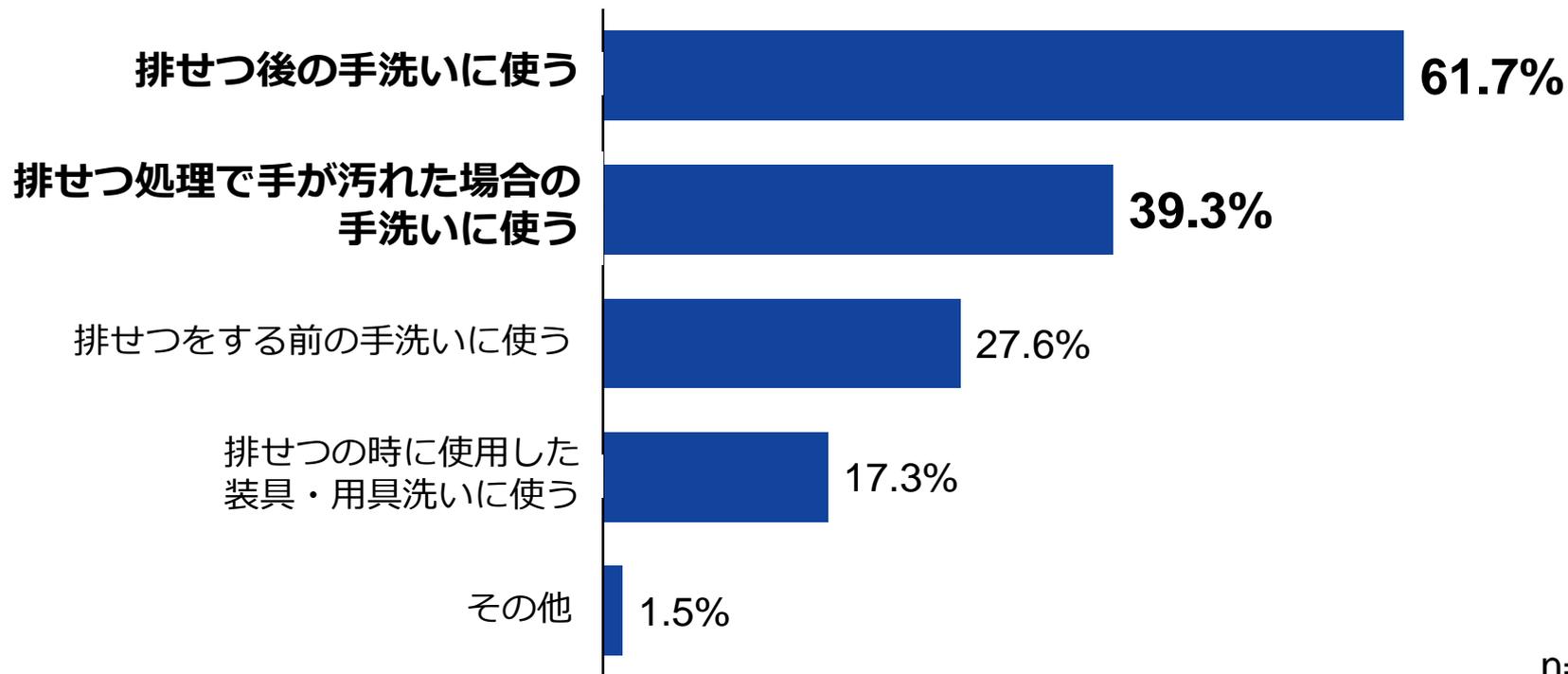
※便器横の手洗器
(便座に座ったまま使用できる手洗器)

2-3. 外出先トイレの設備【便器横手洗器】

便器横手洗器は、排せつ後の手洗い、手が汚れた場合の手洗いなどに使用されている。

Q7で便器横の手洗器を「いつも使用する」「使用することが多い」「使用しないことが多い」と回答した人

Q8 | どのような時に使用しますか。 (複数回答)



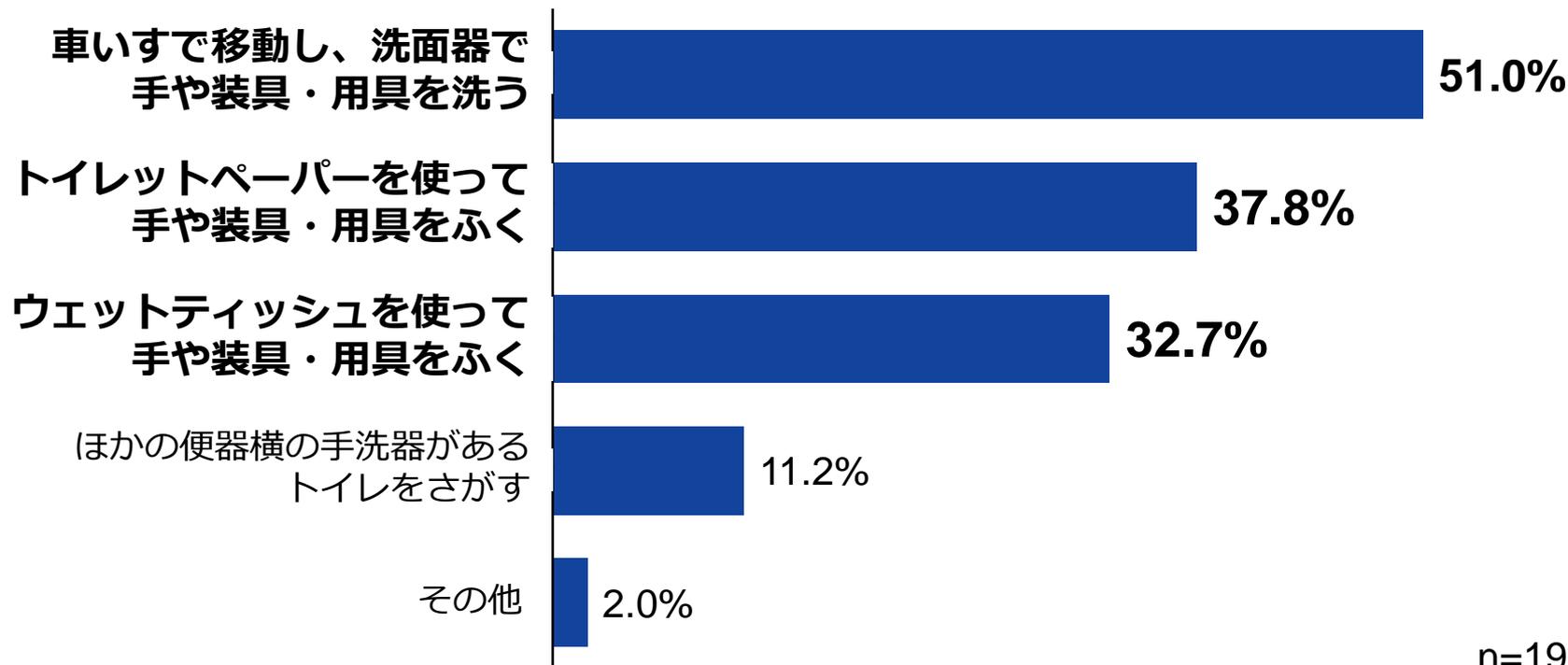
n=196

2-3. 外出先トイレの設備【便器横手洗器】

便器横手洗器が設置されていない場合は、洗面器で洗う、トイレットペーパーやウェットティッシュでふくことで代替している。

Q7で便器横の手洗器を「いつも使用する」「使用することが多い」「使用しないことが多い」と回答した人

Q9 | 便器横の手洗器がない場合はどうしますか。 (複数回答)

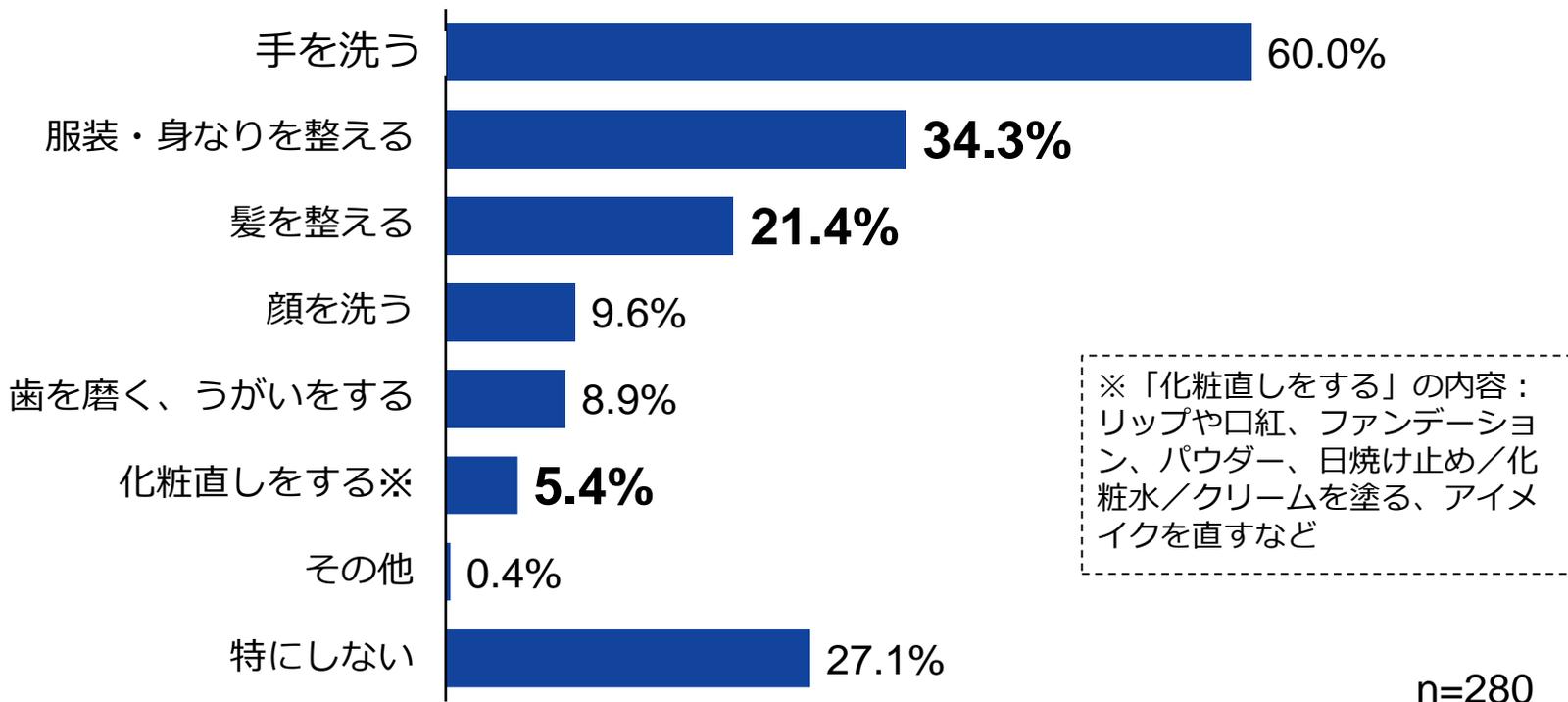


n=196

2-4. 排せつ以外の行為

「服装・身なりを整える」(34.3%)、「髪を整える」(21.4%)が多い。少数だが、洗顔や歯磨き、化粧直しをするという回答もある。

Q10 | 車いす使用者トイレの利用時に、排せつ以外の行為をしますか。 (複数回答)



1 調査概要

2 調査結果

- 2-1. 回答者属性
- 2-2. 外出先とトイレの利用状況
- 2-3. 外出先トイレの設備
- 2-4. 排せつ以外の行為

3 まとめ

3. まとめ

外出先とトイレの利用状況

- 「スーパー・コンビニ」、「飲食店・ファミリーレストラン」はよく利用する施設である一方で、「トイレが狭いから」などを理由にトイレの利用頻度は低く、広さの確保などが求められている。
- 今後トイレを整備してほしい施設として「スーパー・コンビニ」、「飲食店・ファミリーレストラン」「公園」「駅」が挙げられている。

外出先トイレの設備

- 手動ドアよりも自動ドアが望まれている（79.6%）。「力がなくてもボタンで開閉できるから」「トイレの出入りがラクにできるから」が主な理由。
- 便器横手洗器について「まったく使用しない」「わからない」人を除くと70.0%が便器横の手洗器を排せつ後の手洗いなどに使用している。

排せつ以外の行為

- 車いす使用者トイレ内では手を洗う、服装・身なりを整える、髪を整える、お化粧品直しなどの行為も行われているため、見えやすい鏡の設置などが望ましい。

大規模な施設だけでなく、日常生活に密着した施設のトイレ整備も重要です。トイレ空間は広さを確保するとともに、車いす使用者の多様な動作・行為も想定した配慮が望まれます。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO